

# 妊娠中のMRI検査について



妊娠初期も含めて妊娠中のMRI検査は安全です（ただし造影剤使用は不可）

カナダ、トロントの St Michael' s Hospital の産婦人科から報告された 12 年間 1737 件の胎児 MRI（妊娠第 1 期）の児への影響に関する長期的調査研究※の結果

妊娠初期に胎児 MRI を行った児は、行っていない児と比較し、成長障害、視力、聴力、発がんなど明らかな影響は認められなかったことが明らかになりました

※Association between MRI exposure during pregnancy and fetal and childhood outcomes. JAMA. 2016; 316(9): 952-961

日本小児放射線学会 HP

[http://www.jspr-net.jp/information/info\\_2a.html](http://www.jspr-net.jp/information/info_2a.html) より

MRI 検査の造影剤であるガドリニウム剤を併用して検査を行った胎児の追跡調査では、リウマチ様皮疹、炎症性皮膚症状などの出現が有意に高かった。また新生児死亡、死産の頻度も高いことも示されたため、妊娠中の母体にとって、児に対する危険性を上回る有用性がない限り、造影剤の使用は避けるべきです。

妊娠中の検査について、不安に思われるかたがいらっしゃいます。無用の検査をわざわざする必要はありませんが、造影剤を使わない MRI 検査はほぼ安全で、疾患の診断や治療方針決定に必要であれば、妊娠中であることを理由に避けたり延期したりする必要はありません。

妊娠初期は母体の年齢に応じて一定の確率で流産がおこることが知られています。MRI 検査によって流産の可能性が高まることはありませんが、ご心配の時は検査後早めにかかりつけ産科主治医を受診し、児の状態をご確認ください。